

平成27年第1回教育委員会定例会議事録

招集日時 平成27年1月23日（金曜日） 午後1時30分開会／午後3時00分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 上田政憲、中西修一、酒谷百合子、山下裕嗣、山下修平
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、中田スポーツ課長、
田嶋文化財保護課長、矢嶋中央図書館長、柏田山中図書館長、橋本教育庶務課長補佐

上田委員長

平成27年第1回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

それではお揃いですので、平成27年1回教育委員会定例会を始めたいと思います。

改めまして、新年明けましておめでとうございます。

今年もどうぞ、よろしく願いいたします。

振り返りますと昨年というのは、自然災害が日本列島随分たくさん起こりまして、台風もそうですが、広島のと砂災害、御嶽山の噴火であるとか、いろんな災害がありました。ここ石川県では、自然災害においては、わりと安心していただけるというか、住みやすいところなのかなという風に思っております。

17日だったと思うんですけど、阪神淡路大震災20年と、一口に20年と言うと、すごく長い年月だと思うんですけども、いまだにご家族を亡くされた方々が立ち上がれないみたいですね。いろんな、そういう報道が今随分ありましてつくづく感じます。

幸いそういう意味では、わりと石川県や加賀市は、災害からは縁遠いといえますか、ありがたいことですが、住みやすいところと言うことを、しみじみ実感したような次第でもあります。

少子化の波っていうのはこれからも、まだまだ続く予定ですが、先日もご存知だと思いますけれども、文部科学省の方から統合についての手引書というものを作るというような報道もございました。

1月に入ってから特に北國新聞を見てましたら、加賀市の記事がけっこう、しかも教育委員会関係の記事が多かったように思います。

例えば、全学年で6学級以下の学校が、市町の中では県では一番多く9校、金沢8校、七尾、小松など、いくつかございましたが、今年度で菅谷小学校が閉校するという事で、まだ8校残っているわけです。

いずれやはり望まし形の、適正規模ということでこれからも努力をしてまいらなければいけないだろうと思います。

また、ご存知と思いますが文部科学省のほうで来年度、当然子供の数が減れば、学校の数も減るわけですが、学校数の減少に応じて教職員が4,000人減るという試算をしたようでもあります。

ただ、そのなかで、やはり少子化に対応する為という風にも見えると思うんですけども、教育の質の向上に200人、学校経営の推進に230人、個別の課題対応に250人、

そして学校規模の適正化で220人、合わせて900人プラスに採用するという予算の計算をしていて、4,000人削るところを3,100人にするという、こういうような報道もあったと思います。

そのうちの恩恵に与れるのは、石川県としては、120人くらいになるとは思いますが、少しは改善はされるのではないかと考えております。

また、これもつい最近ですけど、県教委が教職員の特殊業務手当を25%追加するというようなことで、休日の部活動、休日や宿泊を伴う大会あるいは修学旅行の引率、異常災害時における病気やけがの緊急対応、緊急的な補導対応ということで、合わせて25%手当を増加するというような報道もございました。

そういう意味では、少子化に対応する為に少しずつ国も県も考えていると思うんですが、加賀市の子供たちの健全な育成、特に望ましい教育環境を構築していくということを目指して、これからも頑張りたいと考えております。

また、私は元、高校の教員だったもので気になるわけですが、17、18日に行われたセンターテストですが、新たに改定されるということは、もう存知だと思いますが、それが適応されるのは、今の小学校6年生からなんです。

新しい形で単に学力だけでなく、いろんな部分を第2の入学資格にしてみようという試みが、どういう形になるのか大変心配ですけれども、とにかく小学校6年生から対応しなければならないということが実はあるわけです。

このあたりについても、今すぐではないですけれども、考えていかなければいけないと思います。いずれにしても、災害ですとどうしても後手後手に回ってしまう部分が多いですけども、教育については、先へ先へと考えをめぐらせているような形で対応を考えていかなければならないと考えております。

上田委員長

それでは、本日の議題に入りたいと思います。

まず、審議事項が1つございます。

議案第1号 加賀市文化財の指定（苳蕙紀聞原本）について

田嶋課長よろしくお願ひいたします。

- 議案第1号 加賀市文化財の指定（苳蕙紀聞原本）について
田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長

この件につきましては、昨年11月の定例会におきまして、苳蕙紀聞の原本ですが、文化財保護審議委員会に諮問をするということで、ご了解いただいた件でございます。

これにつきまして審議会の方から、指定をしたいという旨の答申をいただいたわけでありまして。

この件について何か質問等ございませんか。

特にならぬようですが、念のため挙手で賛同を取りたいと思います。

賛成の方、挙手をお願いいたします。

全委員

全員挙手

上田委員長 はい、ありがとうございます。
満場一致で可決いたしました。
では、審議事項は、この一件だけですので報告案件の方にまいりたいと思います。
報告第1号 加賀市家庭教育支援条例の制定について
西出課長 よろしく願いいたします。

- 報告第1号 加賀市家庭教育支援条例の制定について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 新聞にも大きく取り上げられておりますので、加賀市としての家庭教育支援条例というのを、3月の市議会で上程するという形で今準備を進めているところであります。
ただいまの西出課長の説明につきまして、何かご質問、その他ご意見ございましたら、確認したいと思います。
もちろん、県内の市町では初めてのことでですね。

西出課長 そうです。市町村では、全国初だと思います。

上田委員長 今ほどの、西出課長さんの説明も大変素晴らしい内容で、なかなか実際に家庭教育を支援していくのはむずかしい部分があるような思いもしますが、一つはやはり、市として一体となって、こんな形で家庭教育の支援に取り組むという姿勢を示すという意味では大変素晴らしいことだと思われまます。
特にご質問、ご意見がないようですから、こんな形で推進をしていただくということでもよろしいでしょうか。
では、よろしく願いしたいと思います。
では、次に報告第2号にまいります。
平成27年加賀市成人式について
西出課長 よろしく願いいたします。

- 報告第2号 平成27年加賀市成人式について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 はい、恒例になっております、4月の第1日曜日、加賀市の成人式が行われますが、27年の成人式から少しこれまでと形が変わるということをお説明いただきました。
これにつきまして何か質問ございませんか。

酒谷委員 今年は何人くらいの成人式でしょうか。

西出課長 対象者は682名です。
だいたい80%くらいの参加者なので600名くらいは集まるんじゃないかと思っております。

上田委員長 昨年度までの、例えば選挙管理委員長であったり警察署長さんが前に出るということは今回は、無いということでもよろしいでしょうか。

西出課長 はい。

上田委員長 何か他にございますか。

山下教育長 ビデオを流す時間帯は何時頃になりますか。

西出課長 10:00～10:30が受付になるんですけども、そこから、だいたい20分を予定しております。

全体の場での映写はなく、各受付場所で受付をしながら流しているのを見てもらうということです。

山下教育長 30分までに終わって、その後に公民館長さんとかの話があるということでしょうか。

西出課長 はい。

上田委員長 何かございませんでしょうか。

これまでと大きく形が変わるということで準備の方も大変でないかなと思いますけれども、これまで主賓が下の最前列にいたのが、全部壇上に座る形になるわけですね。そういう意味では、式として正式な形になるんだと思いますが、是非、上手くいくように頑張ってくださいと思います。

よろしく願いいたします。

では、次にまいりたいと思います。

報告第3号 改正を予定する条例、教育委員会規則等について
梶谷課長 よろしく願いいたします。

- 報告第3号 改正を予定する条例、教育委員会規則等について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 ただいま、いろんな条例規則等の改正も予定されているというお話がございました。これについて何かお聞きになりたいこと、確認したいことその他ご意見等ございませんか。

梶谷課長 1つ追加なんですけれども、事務局の事務決裁のことについて、来年度から市の機構が変わるということで、市長部局に部が1つ増えます。地域振興部と市民部の業務が3つの部、市民生活部・健康福祉部・経済観光部になります。また、地域振興部にある、まちづくり課の下に人口減少対策室を新設、環境課に、総務部にある防犯交通安全を持ってきて昔みたいに環境安全課となります。それに窓口課と税料金課を加えて市民生活部にします。

それと、健康福祉の方ですが、市民部の方から今言った窓口課と税料金課が抜けるという形になります。

経済観光部の方に、観光交流課のなかにある地域文化係が、文化振興室となります。観光交流課の下に室という形で管理職が配置されます。そこに文化会館の業務を持っていくという形になります。

教育委員会からは、文化会館に関する業務の部分を除くという改正も合わせて行わなければいけないということになります。

上田委員長 それに伴って、また規則が変わるのですか。

梶谷課長 上田委員長 はい。法の改正で増えるもの、市長部局で補助執行するため減るものがあります。時代の変化に伴って新しく変えていくべきところは、変えていかなければならないという気はいたします。

何かご質問はございませんか。

山下委員 一番下の、加賀市教育委員会事務局組織規則の説明についての、「大綱の策定等」それから「総合教育会議」を教育委員会の補助執行という言葉が使われています。補助執行という言葉が、ちょっと理解しづらいのですが、どういう形で教育委員会が関わっていくのか、実際の形がみえてないですね。

掛山局長 本来事務というのは、これは、もう法律で決まっています。教育委員会でする事務、市長部局でするものと決まっていますが、地方自治法で教育委員会の事務を協議をして補助的に市長部局に事務をさせることができるとか、市長部局の仕事を教育委員会の職員にさせることができるという、そういう規定があるんです。

それで、本来、総合教育会議というのは、うちでいうと宮元市長の所の職務、ここはもう教育委員会と市長部局は完全に機関が別なので、うちは独立した機関なんですけれども、そうすると、お互いに協定を結びあって、この事務は、あなたのところでしてください、と言うそういう協議をするんです。

総合教育会議を市長部局の所の職員がしてもいいんですけども、今の段階では教育に慣れた教育委員会の職員にしてもらえないか、というようなことで、そうすると、うちの分掌事務に、その業務を入れ込む作業をしなければならない。項目上、規則の中に総合教育会議に関するのと、大綱の策定に関するのとという項目が教育委員会の仕事として、そこに明記される。

本来うちでやらなければいけない文化振興業務は、市長部局が担当し、そういった手続きをしています。お互いに協議をして行っています。

山下委員 ありがとうございます。

上田委員長 市長部局の方には、教育委員会関係のこういうノウハウがないから、ということですね。

掛山局長 そうですね。

上田委員長 協議の上ですからお互いに融通し合わなければいけないでしょうね。

梶谷課長 それで、ここに出ているものは、次の定例会に案を出してみていただくという形でお願いいたします。

上田委員長 この改正案というのは3月の市議会に出すということでもよろしいでしょうか。

梶谷課長 はい、3月の市議会に出すので、それまでに教育委員会で採決していただくということです。

改め文、こういう風に改めるという文と、新旧ここがこう変わっているというものをお示しして採決していただくということになります。

掛山局長 条例は議会にかかりますけど、この規則は教育委員会規則なもので、ここで決を採って制定していきます。

上田委員長 ほか何かございませんでしょうか。

ないようですので次にまいりたいと思います。

報告第4号 平成26年度加賀市立小学校・中学校卒業式への出席について
網谷次長 よろしくお願ひいたします。

- 報告第4号 平成26年度加賀市立小学校・中学校卒業式への出席について
網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 はい、ただいま小学校と学校の卒業式についての教育委員の出席の案を提示されま
したが、委員の方ご都合はよろしいでしょうか。

ご都合どなたも悪くないようですね。

網谷次長 はい、それではよろしくお願ひいたします。

上田委員長 それでは報告案件を終わりました、その他に移りたいと思います。

1番目、加賀市PTA大会の開催について

西出課長 よろしくお願ひいたします。

- 加賀市PTA大会の開催について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 先日、教育委員の出席依頼もございまして、返事をFAXするというようなことになっ
ております。

出席できない方、いらっしゃいますか。

山下委員 日曜日は都合悪いので。

上田委員長 山下委員が、出席できないということですね。

あとは大丈夫ですか。

酒谷委員 1時30分から何時まででしたでしょうか。

西出課長 16時までになります。

上田委員長 よろしくお願ひしたいと思います。

2番目、加賀市学校適正規模検討委員会の審議状況について

網谷次長 よろしくお願ひいたします。

- 加賀市学校適正規模検討委員会の審議状況について
網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 ただいま、報告がございましたが、何かありませんか。

7月に一応、まとめるという話はもうすでに前にもお聞きしたように思うんですが、
これまで4校の地域で意見交換会を行ってきたというお話でしたよね。

特にありませんか。

7月の答申を受けて教育委員会で、また審議をするということになりますね。

網谷次長 6回目の会は7月なんですが、答申は一応秋頃を予定しております。

上田委員長 確認なんですけれども、その中に黒崎小学校は入っていますか。

網谷次長 完全複式学級の黒崎小学校については、入っておりません。

上田委員長 おりませんね。はい、確認です。
特にないようですのでよろしくお願いいたします。
その他のその他、何かありますか。

- 菅谷小学校の閉校式について
網谷次長 資料に基づき説明
- 交通事故について
網谷次長 状況について説明

梶谷課長 追加なんですけれども、菅谷小学校の閉校式、先ほど言いました 10 時から 11 時というのは、教育委員会の主催の閉校式、設置者は加賀市なので市長も出席するんですけれども、これに引き続きまして、地元の方で記念行事の実行委員会がありまして、食事など取りながら地元の思い出を語る会みたいなものを、引き続き開催いたします。そちらの方にも、教育委員の皆さん方には引き続きご出席いただきたいと思っております。教育委員会からの案内状と地元の実行委員会からの案内状が別途に届きます。その点だけご承知ください。

上田委員長 他、何かございせんか。

中田課長 はい、中田課長お願いします。

中田課長 現時点での加賀温泉郷マラソンのエントリー状況を報告させていただきたいと思っております。
いよいよ今月末で募集期間が終了いたしますので、あと一息で目標に達しないかなという風に考えております。
それではあくまでも数字は暫定で申し上げますけれども、フルマラソンで本日の 13 時現在で 1,774 名、10km が 663 名、前日 18 日の有料イベントであります、ファンラン 2.5km が 80 名、合計 2,517 名のエントリーをいただいております。
暫定と申し上げましたのは、このうちネット等でお申し込みの皆さまの中にまだ入金済まない方も入っております。そこで、暫定という言葉を使わせていただいておりますけれども、現在 2,517 名のエントリーをいただいております。
あと 1 週間ですので、皆さま、もし、どなたか友人知人いらっしゃいましたら是非お声掛けをお願いいたします。以上でございます。

上田委員長 はい、ありがとうございます。

山下教育長 はい、山下教育長。
マラソンに関してですけれど、走っているのと同進行で、小中学生が全部でエイドと言って給水とか、ちょっとした食べ物がある所が 18 か所あるんですけれども、その 18 か所のエイドの所でタスキを渡していくという形で、今、小学生男子 6 人女子 6 人、中学生男子 3 人女子 3 人ということで、全部で 18 人でタスキを渡して走るとい、マラソンを盛り上げることを考えています。
詳細はまだ決まってないんですけれども、来週校長会で話をして、学校に走れる子を

出してもらって、そのボランティアスタッフには、小学校の先生を出していただき、その方にお世話をしていただきながら、盛り上げて、その間の走っている所をその学校の生徒が出て応援をしていくような形をとると、42.195kmを小中学校、また高校も出て応援体制が整うような形で、そういう形の盛り上げ方もしながら、加賀っ子駅伝みたいな形を、マラソンと同時進行でやることを考えてます。

2チームから、多くても3チームぐらいですけど、あんまりたくさんですと危ないということもありますし、一応そういう形で今のところ大会を盛り上げる方策を1つ考えておりますので、一応お知らせしておきます。

上田委員長
山下教育長

まったくコースについては、まだこれからですか。

マラソンコースと同じコースです。

同じコースを、そのエイドエイドでタスキ渡しをしていく。

保護者が責任持って送り迎えをしてもらえる、そういう親子に出てもらおうという形です。

上田委員長

では、マラソンの参加あるいは小中学生の駅伝について何か気になることはございませんか。

酒谷委員

学校ごとの対抗みたいな、そんなことはやるんですか。

そうじゃなくてタスキを渡して、パフォーマンスも集まっていただく為に、盛り上げる為にするんですね。

山下教育長

対抗はやりません。盛り上げる一貫行事として小中学生もそこに参加して市民全体で盛り上げようという形にしたいと、だからそれぞれのタイムとか順位とかは意識しないで走ろうということです。

酒谷委員

たくさんの人に出てもらえるといいですね。

やっぱり走ってる人も、応援がたくさんあると、すごく励みになるっていいですし、何か誰も見てないところを走るっていうのも何か寂しいっていうこともよく聞きますしね。

山下教育長

だから今そうやって小中学生がそこですれば、親も出てくるだろうし、その学校の生徒たちはそこに行って応援をしてくれれば、かなりの数で絶え間なく応援をする人がいるっていう状況を作れるんじゃないかなと思っております。

上田委員長

はい、いくつか出てまいりましたが他にありませんか。

酒谷委員

すいません、県外からの申し込みってたくさんありますか。

中田課長

現在、これもすいませんがネット等で確認できないところもあるんですけども、県内は、やはり一番当然多くて9割ぐらい、8割~9割の間が県内で、8割~9割の、その9割ぐらいまでで北陸3県です。

現在一番遠いところで参加申込みされてる方は、北海道の方が3名いらっしゃいます。鹿児島の方が1名いらっしゃいます。あと今回は東北の6県からは、ちょっと、お申し込みがないので残念だなとは思っておりますが、状況としましては47都道府県中の30県ぐらいからは、ご登録をいただいているような状況です。

上田委員長

あとよろしいでしょうか。

最後に連絡事項として次回の開催連絡をお願いいたします。

梶谷課長 | 予定をしておりますのは、2月18日の水曜日、どうでしょうか。
全委員 | 大丈夫です。
梶谷課長 | では2月18日水曜日の13:30から、また場所は後日連絡いたします。
上田委員長 | 2月18日水曜日の開始が13:30では、よろしく願いいたします。
| 以上で第一回の定例会を終わりたいと思います。
| お疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。